

N-アセチルグルコサミン及びグルコサミンの体内での動きを評価する



薬学科（臨床薬理学分野）

賀川 義之

- 連絡先 TEL : 054-264-5761
E-Mail : kagaway@u-shizuoka-ken.ac.jp
- ホームページ <https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/rinyaku/>

キーワード

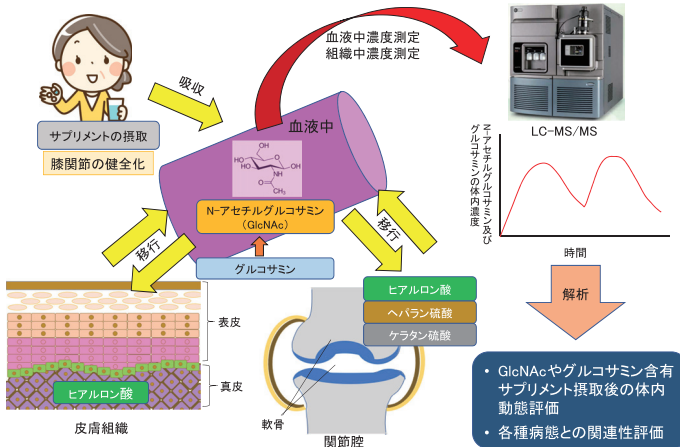
N-アセチルグルコサミン, グルコサミン, サプリメント



N-アセチルグルコサミン (GlcNAc) は、関節軟骨や皮膚などを形成するグリコサミノグリカンの構成成分であり、グルコサミンはGlcNAc生合成の原料である。GlcNAcやグルコサミンは *in vitro* での研究で、抗炎症作用に加え関節保護作用を示すと報告されている。そのため関節痛改善や保湿効果を期待して広く摂取されているが、ヒトで効果を立証するデータはほとんど存在しない。また、GlcNAcはヒトの血中に内因性物質として存在している。このことから、血液中など体内のGlcNAcやグルコサミン濃度は、関節傷害や保湿効果と関連する可能性がある。しかし、それらの体内濃度を高感度で測定することは困難であった。当研究室では血液中GlcNAc及びグルコサミン濃度の高感度測定法を開発したので、この方法を利用してこれらアミノ糖の体内での動きと効果との関連性を検討している。

N-アセチルグルコサミン及びグルコサミンの体内での動きを評価することで、真の効果に迫る。

N-アセチルグルコサミン及びグルコサミンの体内での動きを評価する



アピールポイント

サプリメントとして人気のあるN-アセチルグルコサミンやグルコサミンの吸収・分布・排泄など体内動態を評価することで、真の効果を明らかにする。